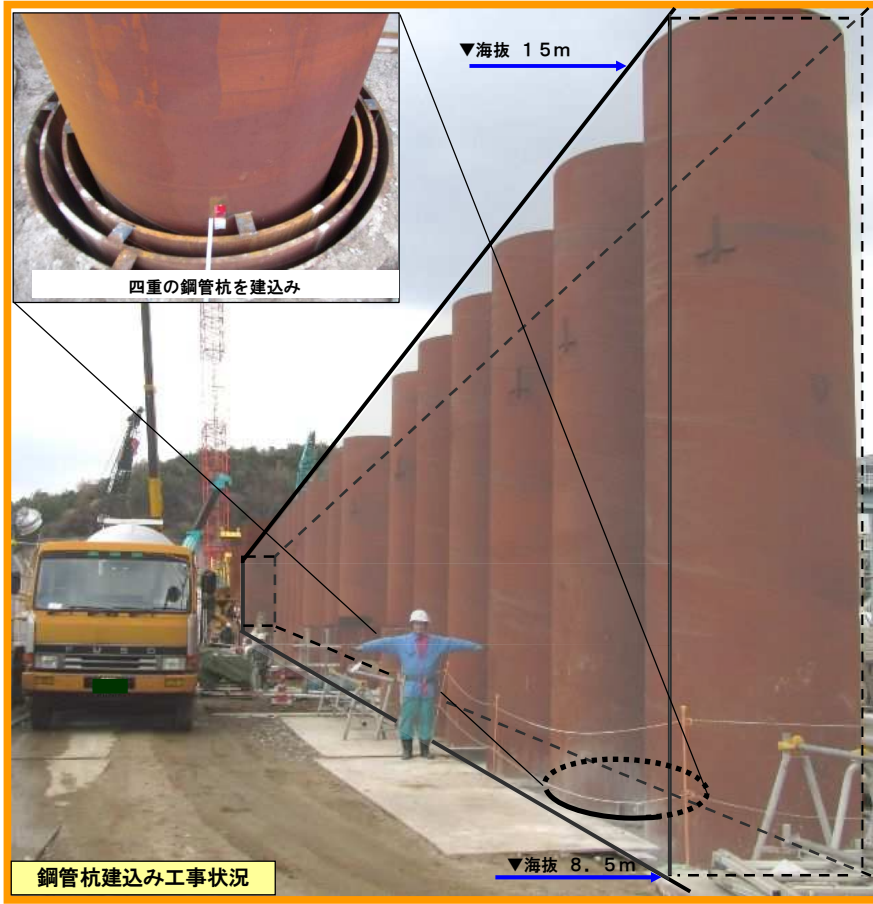


島根原子力発電所 安全対策等の実施状況をお知らせします【平成25年1月】

～更なる安全対策として以下の対策に鋭意取り組んでいます～

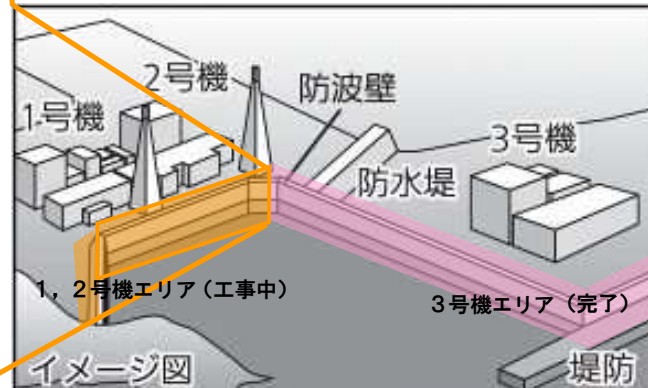
防波壁の強化（3号機エリアの防波壁工事は終了）

更なる信頼性向上対策として、発電所構内全域を海拔15mの防波壁で囲みます。



〔平成25年内完了予定〕

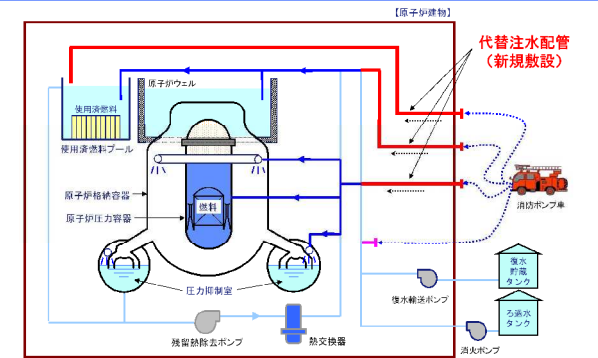
- 1, 2号機エリアでは、鋼管杭の建込み工事を行っています。
- 岩盤を5m以上掘り下げ、防波壁の基礎となる鋼管杭を三～四重に建込むことで、「地震の揺れ」と「津波の衝撃」の両方に耐える強固な構造としています。



代替注水配管の敷設

原子炉・使用済燃料プールを冷やす対策の更なる強化策として、消防ポンプ車等による注水をより迅速に行えるよう、原子炉建物外に接続口を有する代替注水配管を敷設します。

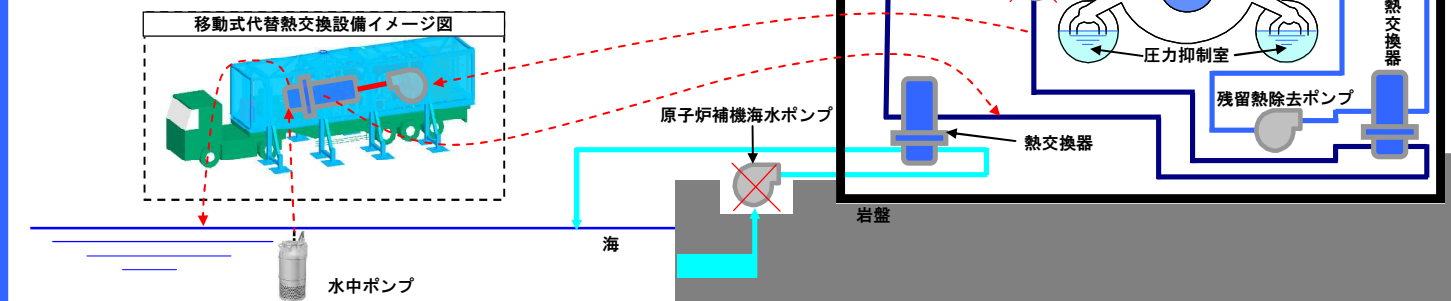
〔平成25年度内完了予定〕



移動式代替熱交換設備の配備

原子炉・使用済燃料プールを冷やす対策の更なる強化策として、万一、冷却用ポンプが機能喪失した場合でも、機動的に代替冷却が行えるよう、移動式代替熱交換設備を配備します。

〔平成25年度内完了予定〕

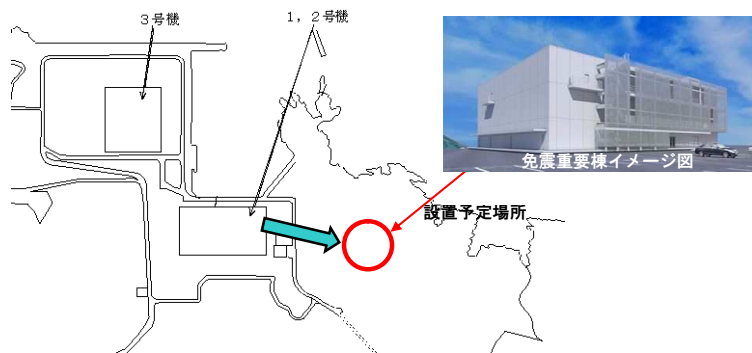


免震重要棟（仮称）の設置

大規模地震等によって原子力発電所の事故が発生した場合の対応に、より万全を期すため、緊急時対策所機能を収容する免震構造の建物（仮称：免震重要棟）を発電所構内の高台に設置します。

〔平成26年度内完了予定〕

- 平成25年度内に免震重要棟の工事に着手できるよう、敷地造成工事を行っています。
- 津波などの影響を考慮し、海拔50mの高台へ免震重要棟を設置します。



フィルタ付ベント設備の設置

万一、炉心が損傷した場合でも、放射性物質の放出量を大幅に低減できるようにフィルタ付ベント設備を設置します。

〔平成27年度内完了予定〕

- フィルタ付ベントの仕様など詳細について検討しています。

☑ フィルタ付ベントの仕組み

現在の設備では、格納容器内のガスを大気に放出する際、一旦、圧力抑制室の水の中を通過させることで放射性物質の放出を低減する仕組みとなっていますが、新たに設置するフィルタを通過させることで、更に放出量を低減することができます。

